

# めぶきアセアンレポート

## MEBUKI ASEAN REPORT

2022年11月号

### CONTENTS

- ◇ 【 ベトナム通信 】 ベトナムの農産物市場～日本の果物の輸出展望～ . . . P.2 ～
- ◇ 【 アセアン駐在員コラム 】 . . . . . P.5
- ◇ 【 アセアン各国ニューストピックス 】 . . . . . P.6
- ◇ 【 アセアン・インド休日情報 】 2022年11月～2023年1月 . . . . . P.7
- ◇ 【 めぶきFGアジアネットワーク 】 . . . . . P.8～

常陽銀行シンガポール  
駐在員事務所  
10 Collyer Quay #09-07A  
Ocean Financial  
Centre,  
Singapore 049315  
TEL:65-6225-6543  
※2022年7月4日より上記住所  
に移転しております。

足利銀行バンコク  
駐在員事務所  
689, Bhiraj Tower  
at EmQuartier,  
27th Floor, Room  
No. 2714, Sukhumvit  
Road, Klongton-nue,  
Wattana, Bangkok  
10110, Thailand  
TEL:66-2-261-2852

常陽銀行ハノイ  
駐在員事務所  
5th Floor, Sun Red  
River,  
23 Phan Chu Trinh  
Street,  
Hoan Kiem District,  
Hanoi, Vietnam  
TEL:84-24-3218-1668

本レポートの内容につきましては、当行の信頼し得る先からの情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、信頼性を保証するものではありません。具体的に法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談ください。お願い致します。

# 【ベトナム通信】 ベトナムの農産物市場 ～日本の果物の輸出展望～

常陽銀行ハノイ駐在員事務所  
石井 圭太

～はじめに～

経済発展著しいベトナムでは、外国産の野菜や果物への人気が高まっており、スーパーマーケットの青果コーナーでは、輸入品のブドウやナシなどが数多く並んでいます。今回は果物を中心に、ベトナムの農産物市場の現状や、日本の農産物輸出の可能性などをレポートします。

## 1. ベトナムの農産物の輸入状況

### 日本からベトナムへの野菜・果実等輸出額 :6億円(2021年)

日本の農林水産物・食品の輸出総額は、1兆2,382億円(2021年確々報、農林水産省調べ)ですが、うちベトナム向けは585億円となっており、中国、香港、米国、台湾に次ぐ主要な輸出国の一つです。

一方で、ベトナム向け農林水産物・食品輸出の内訳を見てみると、加工食品や水産物、畜産品が上位を占め、野菜・果物等はここ数年全体の1.0%程度に留まっています。

日本からの主な輸出先	輸出額(億円)
中国	2,223
香港	2,190
米国	1,683
台湾	1,245
<b>ベトナム</b>	<b>585</b>
韓国	527
タイ	441
シンガポール	409
オーストラリア	230
フィリピン	207

### ベトナムの野菜・果物輸入額:1,107億円(2020年)

ベトナムにおける食用野菜・果物等の輸入額は、2017年に17億ドルを記録して以降漸減し、2020年はコロナ禍の影響もあり、10億ドル(1,107億円※)と大幅に減少しています。

野菜の主な輸入先は、中国、カンボジア、ミャンマーなどで、玉ねぎや馬鈴薯など大衆向けの安価な品目が多く輸入されています。

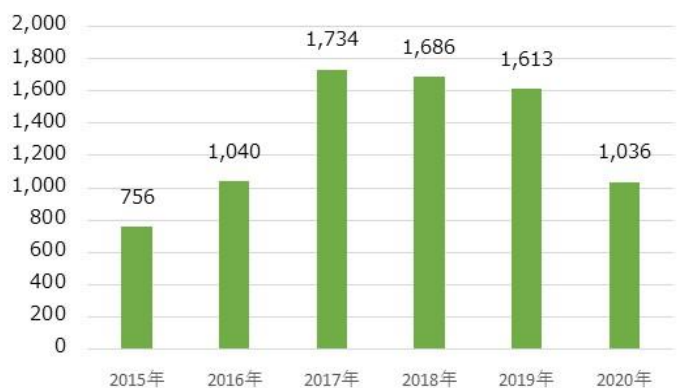
一方、果物に関しては、ニュージーランドや米国からリンゴやブドウなどが多く輸入されています。

またベトナム国内でも、南部メコンデルタ流域を中心に、マンゴーやドラゴンフルーツなどの果物が生産され、日常的に食べられていますが、輸入果物は常食以外の贈答用や来客用として、主に中間所得層以上に消費されています。ベトナムの経済発展とともに、今後も中間所得層以上の増加が見込まれることから、輸入果物への需要増加も期待されているところです。

	加工食品	水産物、水産調製品	畜産品	その他農産物	穀物等	林産物	野菜・果物等
億円	185	184	129	46	27	8	6
%	31.6%	31.5%	22.1%	7.8%	4.6%	1.4%	1.0%

(出典) いずれも農林水産省「2021年農林水産物・食品の輸出実績(国・地域別)」から筆者作成。

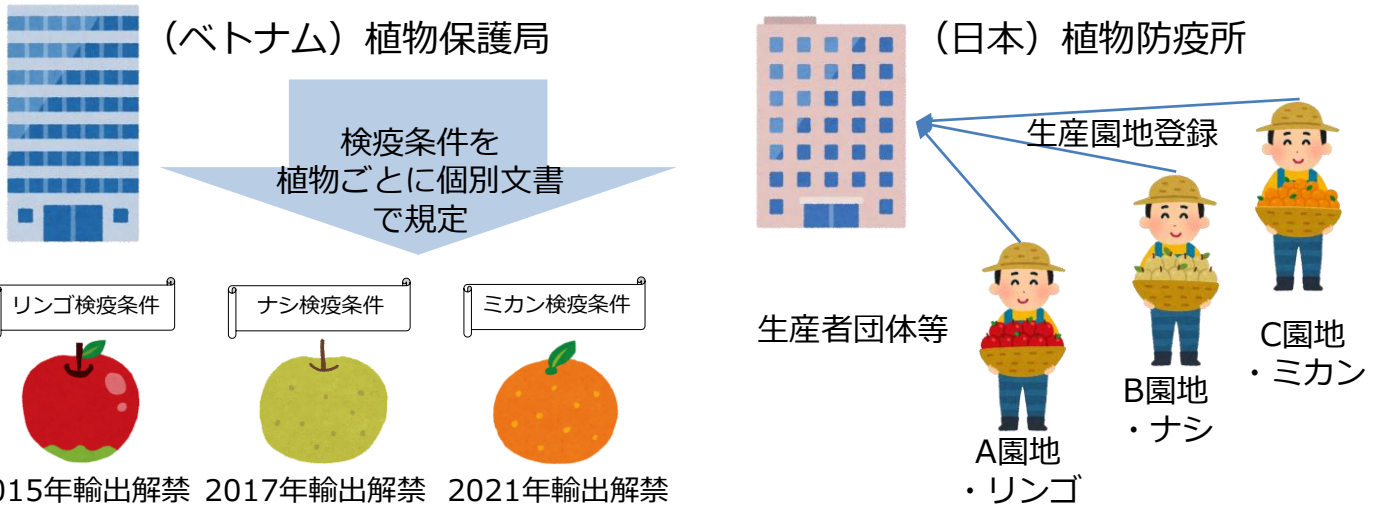
ベトナム食用野菜、果物等輸入額(百万USD)



(出典) UN Comtrade Databaseのベトナム輸入データから筆者作成(品目: 07(Vegetables and certain roots and tubers; edible)08(Fruit and nuts, edible; peel of citrus fruit or melons)の合計から0801,0802(カシューナッツ等)を差引いた値)。  
※ 1 USD=106.82円(2020年間平均の仲値)で換算。

## 2.日本から輸出できる農産物（果物）

日本からベトナムへの輸出できる果物：リンゴ、ナシ、ウンシュウミカンのみ



(図出典) ジェトロwebサイト等を参考に筆者作成

日本からの野菜や果物のベトナム輸出に際しては、クリアしなければならないベトナム植物保護局による植物検疫制度があります。本制度は、ベトナム植物保護局が対象植物ごとに検疫条件を定め、当該条件を満たす場合にのみ、ベトナムへの輸入を許可するというものです。

これまで果物に関しては、リンゴ、ナシのみ検疫条件が設定されていましたが、2021年10月にウンシュウミカンの検疫条件が新たに設定されました。

日本各地の生産者や生産者団体は、ベトナムの検疫条件を満たすため、日本の植物防疫法（昭和25年法律第151号）等に基づく植物防疫所による生産園地登録を受けたうえで、輸出向け青果物を生産しています。生産園地登録にあたっては、病害虫防除の措置が講じられているなど、所定の生産条件を満たす必要があります。

検疫条件の設定は、二国間の協議により進められます。現在は日本産のブドウ輸出を目指し両国間で協議が行われているとのことですが、輸出解禁に至るまでには数年単位の時間がかかることもあります。ウンシュウミカンの場合は、日越両国の検疫当局による約4年半の協議の末、輸出解禁となりました。

なお、茨城県からは、「幸水」や「あきづき」といった品種のナシがベトナムに輸出されていますが、他国産との価格競争や日本国内価格の上昇等により、直近の輸出量は減少傾向にあります（2019年:65.0トン、2020年:38.4トン、2021年:11.6tトン（茨城県調べ））。

	南アフリカ産	日本産	韓国産
値段 (VND)	11,000 (約68円)	31,900 (約197円)	12,900 (約80円)
特徴	強い甘味、 香り	みずみずしさ、 歯ごたえ	小ぶり、 酸味



ホーチミン市内の小売店におけるナシの販売状況（上）とその価格等（左）  
(出典：筆者撮影・作成)

※値段は2022年10月6日時点の100gあたり価格。1VND=0.0061650円で換算。

## 3.日本の農産物に関する課題や期待（ジェトロハノイインタビュー）

ベトナム市場における日本の農産物販売に際しての課題や将来性などについて、2021年にウンシュウミカンの輸出を支援したジェトロハノイ事務所にインタビューしました。



## Q：ウンシュウミカン輸出に関する支援内容は

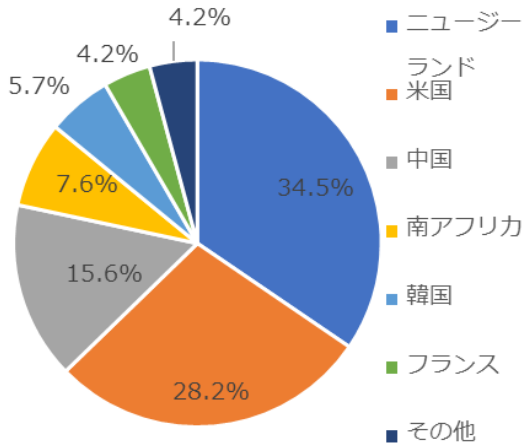
A：2021年10月の輸出解禁に伴い、和歌山県の産地と連携し、販促物のデザイン製作のほか、PR動画のベトナム語版作成などのプロモーションをサポートしました。12月には、ハノイのイオンモールロンビエン店にて、大使館やベトナム農業農林開発省を招聘の上、日本産ウンシュウミカンのお披露目会を実施したほか、店頭での試食販売などに取組みました。

初年度の成果として、ベトナム国内の小売向けにウンシュウミカン2tを完売することができました。



イオンモールにおけるイベント  
(出典) 在越日本大使館webサイトから抜粋

## ベトナムにおけるリンゴ・ナシの輸入額の 国別割合 (2020年、USDベース)



(出典) UN Comtrade Databaseのベトナム輸入データから筆者作成(品目：0808 Apples, pears and quinces; fresh)

## Q：日本産の果物の課題は

### A：①強力なライバルの存在 (ニュージーランド、米国、韓国など)

ベトナムにおける果物の主な輸入先として、ニュージーランド、米国、韓国などが挙げられます。茨城県が輸出しているナシであれば、韓国が競合相手であり、価格が安く見栄えもよいため、多くの小売店で流通しています。一般的に、日本産の果物は品質が評価されているものの、これらの国のもの比べて値段が高くなっています。

### A：②ベトナム人の嗜好性とのギャップ

ベトナムでは、水分補給を兼ねて果物を食べる人もおり、甘味よりも酸味やみずみずしさが好まれる傾向があります。またコールドチェーンが十分に発達していないため、日本で好まれる、熟した甘い果物は敬遠される傾向があると聞いています。こうしたローカルの嗜好性も把握することが重要です。

## Q：日本の果物の将来性や期待できる点について

A：日本産の果物は、味や安全性等の品質が評価されています。ウンシュウミカンの店頭試食会では、「ベトナムのものよりみずみずしい」、「種がなくて食べやすい」などの好意的な意見がありました。ここ数年は、日本産のリンゴの輸出額も伸びており、日本の果物の良さが少しずつ認知されてきていると思います。今後は、こうした高品質をどのように消費者やバイヤーにアピールし、価格が高いことに説得力を持たせるかが重要になると思います。例えば、生産に至るストーリーを丁寧に説明するほか、テト（ベトナムの旧正月）の贈答文化に合わせて、贈答用商品として高級感のある箱で梱包して販売するなどが考えられます。また、小売店からは、「ウンシュウミカンの販売期間を延ばせるよう、日本から数週間毎に分けて出荷してほしい」、「リンゴやナシのように1～2か月売り場を作って販売したい」など、安定供給に関するニーズも把握出来ました。ベトナム市場の消費者にリーチするためには、生産者側がこうした小売店側のニーズに応えることも重要ではないかと思えます。

## 4.おわりに

近年、日本の農林水産物の輸出額は着実に伸びてきており、サツマイモやイチゴなど、質の高い日本の農産物は、タイやシンガポール、米国においても人気になってきています。

常陽銀行では、農産物や食品加工物などの輸出に関するコンサルティング支援を行うほか、海外事務所による市場調査や商談アレンジサービスを提供しています。海外進出にご関心のある方は、是非ご相談ください。



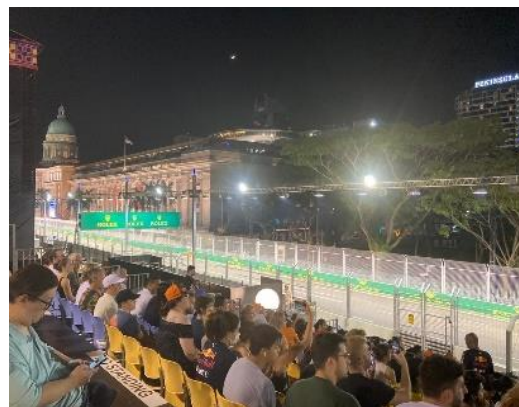
## 【シンガポール】～3年振りのF1開催について～

9月28日から30日にかけて、世界最高峰の四輪レースであるF1（フォーミュラ・ワン）シンガポールグランプリが3年ぶりに開催され、来場者は30万2千人と過去最高を記録しました。このグランプリは公道を舞台としたコースの為、オフィス近くまでエンジン音が鳴り響きます。期間中、ホテルの値段は跳ね上がり、シンガポールリバー沿いのレストランは人で混雑しました。「ビッグイベントの際は絶対に雨が降らない」というシンガポールの都市伝説は崩れ、最終日は豪雨によりスタートが遅れましたが、レース後は世界的なアーティストたちのライブで深夜まで盛り上がりました。今回のグランプリで街は以前の活気を取り戻すなど、コロナ収束を象徴する大イベントとなりました。

既に来年のチケット販売が開始されていますので、ご興味がある方は現地で観戦してみたいかでしょうか。

常陽銀行シンガポール駐在員事務所  
現地スタッフ 関 順

## 【F1グランプリ観客席の様子】



【筆者撮影】

## 【棚田の様子】



【筆者撮影】



## 【ベトナム】～ベトナムの秘境サパ～

ベトナムの首都ハノイから北に車で5時間ほどの距離に大自然が広がる町、サパ。ここはベトナムと中国の国境付近で、かつてフランスがベトナムを占領していた際の避暑地として開発が進められ、現在は多くの観光客で賑わっています。特筆すべきは山地の傾斜を利用した棚田です。収穫時期になると黄金色に輝く稲穂はまさに絶景で、ハイキングをしながら眺めるのが定番です。

ベトナム国内はコロナ感染者も落ち着いてきており、多くの旅行者で賑わっていました。

ハノイ駐在員事務所  
関 一平



## 【タイ】～EVの増加～

タイではEV（電気自動車）が増えており、バンコクだけではなく郊外でもよく見かけるようになりました。

EVは環境にやさしく、長期的にガソリン車よりコストを削減できるため、注目されています。タイ政府は、1台当たり70,000-150,000バーツの補助金を交付しEVの購入を促進しています。また、タイ王国発電公社やガソリンスタンドも、EVの充電スタンドの充実を図っています。現在では、充電スタンドは全国で944カ所もあり、充電スタンドを探すアプリもリリースされました。

EVはタイ人にとってまだ目新しいですが、政府による購入サポートに加え、EVに乗車する人向けのアプリにより利便性も向上しています。将来、EVはガソリン車と同じぐらい広がっていくのではないかと感じています。

足利銀行バンコク駐在員事務所  
現地スタッフ ピンパーペン・サウィター

## 【街中のEVスタンド】



【筆者撮影】

## 〈経済関係NEWS〉

シンガポール



- (10/17) 7～9月の経済成長率4.4%、製造業不振、年内は減速の見込
- (10/21) 中小企業業況指数、7四半期連続で好況領域

マレーシア



- (10/18) マレーシア総統計局、ICT分野のGDP寄与率を21年は23.2%と発表
- (10/19) 9月の新車販売、前年比53%増の6.8万台

タイ



- (10/14) 9月の産業景況感指数91.8と4カ月連続で改善
- (10/21) 9月の自動車生産、28%増の18万台

インドネシア



- (10/18) 9月輸出20%増、伸び鈍化 前月比は輸出入ともマイナス
- (10/19) 9月自動車生産、14万台超えて過去最高更新

フィリピン



- (10/7) 8月失業率5.3%、コロナ後で最低水準
- (10/20) 物価高、GDPに下押し圧力、23年成長に影

ベトナム



- (10/13) 9月新車販売は前月比8.5%増 3カ月連続プラスで回復に勢い
- (10/24) 政府、23年のGDP成長率目標を6.5%と発表

## 〈その他NEWS〉

シンガポール



- (10/19) シンガポール航空、9月の旅客数214万人
- (10/21) マリーナベイサンズ、3Qは23倍の増益

マレーシア



- (10/19) 21年出生数は6.7%減の44万人、少子化進む
- (10/20) 9月輸出は30%増、前月から伸び減速

タイ



- (10/12) チャオプラヤー川流域、洪水被害悪化見通し
- (10/21) タクシー運賃引き上げ、具体案の調整は難航

インドネシア



- (10/19) 保健相、国産ワクチンの接種を優先する旨の発表
- (10/20) 大統領、新首都24年移転を強調

フィリピン



- (10/6) 資金洗浄への対処、世界45位に改善
- (10/24) 貧困自覚世帯49%に増加

ベトナム



- (10/13) 鉄道整備計画の遅れ、政府が国会に報告書
- (10/24) ダナン市、記録的豪雨で1.5兆ドン相当損害

# アセアン・インド休日情報

## 2022年11月

日	月	火	水	木	金	土
		1 PH	2	3 JP	4	5
6 MM	7 MM	8 CD CD IN	9 CD	10	11	12
13	14	15	16	17 MM	18	19
20	21	22	23 JP	24	25	26
27	28	29	30 PH			

## 2022年12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5 TH	6	7	8 PH	9	10 TH
11	12 TH	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22 MM	23	24
IN MM ID	25	26	27	28	29	30 PH
MY PH SG SG	MY					

## 2023年1月

日	月	火	水	木	金	土
MY PH	1 ID	2	3	4 MM	5	6
SG CD IN	VN JP TH					7 CD
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20 VN	21
22	23 VN	24 VN	25 VN	26 VN	27	28
29	30	31				

※ナショナルホリデーのみ掲載  
※祝祭日名省略

出典：ジェトロ各国情報等

- JP 日本
- MY マレーシア
- TH タイ
- SG シンガポール
- PH フィリピン
- VN ベトナム
- IN インドネシア
- MM ミャンマー
- ID インド
- CD カンボジア



# めぶき F G アジアネットワーク (1)

お客様の海外進出をサポートするため、様々な機関や外国銀行と業務提携を結び、支援体制の強化を進めています。

## ◎業務提携先一覧

提携先	常陽	足利	主な業務内容
中国銀行 (中国)	●	●	中国国内情報の提供および各種金融サービスの提供
交通銀行 (中国)	●		
中国信託商業銀行 (台湾)	●		台湾情報の提供および各種金融サービスの提供
カシコン銀行 (タイ)	●	●	タイ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バンコック銀行 (タイ)	●		
バンクネガラインドネシア (インドネシア)	●		インドネシア国内情報の提供および各種金融サービスの提供
CIMBニアガ銀行 (インドネシア)		●	
ヴィエティンバンク (ベトナム)	●		ベトナム国内情報の提供および各種金融サービスの提供
ベトコム銀行 (ベトナム)	●	●	
ベトナム外国投資庁 (ベトナム)	●		ベトナム関連セミナーの開催協力 ベトナム進出に関する各種支援、投資関連情報の提供
BDOユニバンク (フィリピン)	●		フィリピン国内情報の提供および各種金融サービスの提供
メトロポリタン銀行 (フィリピン)		●	
インドステイト銀行 (インド)	●	●	インド国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バナメックス (メキシコ)	●	●	メキシコ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
アグアスカリエンテス州政府ほか (メキシコ)	●	●	メキシコに関する現地市場調査 投資情報の提供
日本貿易振興機構 (JETRO)	●	●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力機構 (JICA)	●	●	途上国での海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力銀行 (JBIC)	●		海外展開支援融資の提供
日本貿易保険 (NEXI)	●	●	輸出取引を行う際の海外取引リスクに備える各種貿易保険の提供
中小企業基盤整備機構		●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
東京海上日動火災保険	●	●	海外リスク情報等の提供
損害保険ジャパン	●	●	リスクマネジメントコンサルティングサービスの提供
三井住友海上火災保険	●	●	各種損害保険の提供
セコム	●		海外での安全システム・防犯危機商品の提供
総合警備保障	●		海外セキュリティサービスの提供



# めぶき F G アジアネットワーク (2)

## ◎めぶき F G 海外駐在員事務所

常陽銀行シンガポール駐在員事務所	10 Collyer Quay, # 09-07A, Ocean Financial Centre, Singapore, 049315 TEL:+65-6225-6543
常陽銀行ハノイ駐在員事務所	5th Floor, Sun Red River, 23 Phan Chu Trinh Street, Hoan Kiem District, Hanoi, Vietnam TEL:+84-24-3218-1668
常陽銀行上海駐在員事務所	上海市延安西路2201号 上海国際貿易中心1901室 TEL:+86-21-6209-0258
常陽銀行ニューヨーク駐在員事務所	712 Fifth Avenue, 8th Floor, New York, NY 10019 TEL:+1-347-686-8420
足利銀行香港駐在員事務所	Suite 1601, 16th Floor, Tower 2, The Gateway, Harbour City, Kowloon, Hong Kong TEL:+852-2251-9475
足利銀行バンコク駐在員事務所	689, Bhiraj Tower at EmQuartier, 27th Floor, Room No.2714, Sukhumvit Road, Klongton-nue, Wattana, Bangkok 10110, Thailand TEL:+66-2-261-2852

